

私立高校入試から公立高校入試へ受験態勢をシフトする効果的な方法とは

開倫塾 塾長 林明夫

Q 私立高校入試も終わり、いよいよ公立高校(県立高校・国立高専)入試に備える時期となりました。受験態勢をどのようにシフトしたらよいのでしょうか。

A まずは、県立高校や国立高専でどのような問題が出題されるかを知ることです。

Q どうすればよいのですか。

A 過去に出題された問題(過去問)を最低 5 年分、できれば 10 年分、制限時間内に解いてみることをお勧めします。

Q 解いてみてどうすればよいのですか。

A スラスラ正解が出せる問題と、なかなか正解が出せない問題とは何かを科目ごとにはっきり自覚することです。

スラスラできる問題は、ケアレスミスがないようにして確実に得点できるようにしましょう。そのために一番よいのは、自分にとって易しい問題だけでいいですから、同じ年度の問題を 5 ～ 6 回やり直すことです。

Q なかなか正解が出ない問題はどうしたらよいのですか。

A 基本的なことがよくわかっていなくて解けなかったのなら、教科書や参考書を丁寧にやり直して下さいね。

応用問題ができない場合は、焦らずに易しい応用問題からスタートしましょうね。

Q 私立高校と違った形で出題されることはありますか。

A はい。県立高校・国立高専では記述式の問題が多く科目で出題されます。

Q 記述式の問題への対策は何ですか。

A 教科書に出ている基本的な内容は、十分理解した上で、楷書(かいしょ)、つまり教科書の書体で書けるようになるまで「書き取り練習」をすることです。

大切な語句は、定義、つまり「～は……だ」という言葉の意味をよく理解した上で、正確に書けるようになるまで「書き取り練習」をすることも大切です。

Q 最後に一言どうぞ。

A 受験生としての自覚を持って勉強しましょう。そのために、何のために受験勉強をするのか、高校に行って何を学ぶのかを自分の力で絶えず考えると勉強に迫力と集中力がつきます。

もうひとがんばりです。ファイト！